

平成29年度 青森支部 パイロット事業報告

ジェネリック医薬品アドバイザー薬局の 加入者への案内

- 事業概要等……………P1～7
- アンケート結果(加入者)……P8～17
- アンケート結果(調剤薬局)……P18～32

① 事業概要

事業の概要・目的

ジェネリック医薬品使用割合の伸びが鈍ってきていることへの改善策として、ジェネリック医薬品の取扱いに積極的な保険薬局を「アドバイザー薬局」に指定。ステッカー・ミニのぼりを設置することで加入者が相談しやすい環境を作ると同時に、薬剤師からも積極的な働きかけを行ってもらう。また、アドバイザー薬局一覧表を軽減額通知に同封することで、加入者にダイレクトに情報を届け、調剤薬局とのマッチングを促すことで更なる使用促進を図る。

➤ 事業対象者

- ジェネリック医薬品軽減額通知送付者（1回目）
- 青森県薬剤師会・保険薬局・薬剤師

➤ 事業費用及び主な使途

約188.1万円

（内訳：印刷製本費 約56.3万円、アンケート発送業務委託費 約66.6万円、郵送費 66.9万円）

➤ 事業スキーム

- ① 青森県薬剤師会の協力を得て、ジェネリック医薬品の取扱いに積極的な保険薬局を「アドバイザー薬局」と指定し、加入者が認識できるようステッカー・ミニのぼりを配布し店舗に設置してもらう。
- ② ジェネリック医薬品軽減額通知（1回目）にアドバイザー薬局一覧表を同封し、気軽に相談できる薬局があることを加入者へ案内する。
- ③ 事業の効果測定及び今後の事業の参考とするため、軽減額通知送付対象者の一部とアドバイザー薬局へアンケート調査を実施する。

② 実施結果

➤ アウトカム評価 ①切替率の比較

軽減額通知に「アドバイザー薬局一覧表」が同封された青森支部加入者と、同封されていない他支部加入者のうち青森県に住所を有する者との切替率を比較。

※全支部の「送付者リスト」と「個人別軽減効果額算出書」（切替者一覧表）を突合のうえ集計

	送付者数	切替者数	切替率
①青森支部加入者 かつ 青森県居住者	43,331	12,687	29.3%
②他支部加入者 かつ 青森県居住者	4,288	1,241	28.9%
(参考) 青森支部	45,110	13,187	29.2%

①と②では切替率で0.4%の差となった。僅かながら効果はあったと推察できるが、期待を上回るほどではなかった。

➤ アウトカム評価 ②薬局における使用割合の変化

調剤薬局リストより、アドバイザー薬局群と非アドバイザー薬局群との使用割合の変化を比較。

※28年度及び29年度の両年度で比較可能な薬局での比較とした。（アドバイザー薬局群=471、非アドバイザー薬局群=95）

※事業を実施した29年8月を軸とし、7月と9月における変化と前年の同時期の比較を行った。

		7月	9月	伸び
29年	アドバイザー薬局群	75.0%	76.4%	1.4%
	非アドバイザー薬局群	52.9%	53.5%	0.6%
	青森支部	72.1%	73.4%	1.3%
28年	アドバイザー薬局群	73.2%	74.0%	0.8%
	非アドバイザー薬局群	50.6%	51.2%	0.6%
	青森支部	70.2%	71.1%	0.9%

29年7月から9月における使用割合の伸びの比較では、アドバイザー薬局群が非アドバイザー薬局群を0.8%上回った。前年同時期と比較すると、非アドバイザー薬局群の伸びに変化がなかったのに対し、アドバイザー薬局群では前年同時期の伸びを上回る変化があった。今回の事業が一定の効果をもたらしたものと推察される。

② 実施結果

➤ アウトカム評価 ③加入者、調剤薬局の変化

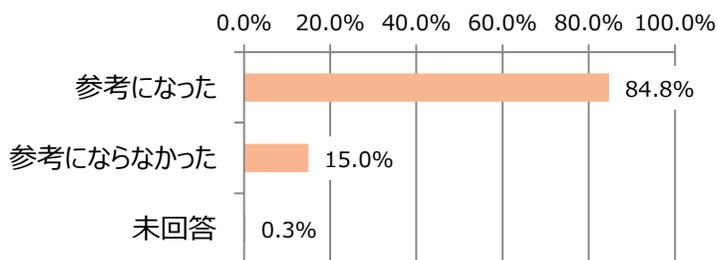
軽減額通知送付対象者の一部と事業に参加した薬局に実施したアンケート調査の結果から、加入者及び調剤薬局の意識・行動の変化を探る。

※一部抜粋。詳細な集計結果については別添資料に掲載。

◆加入者向けアンケート◆

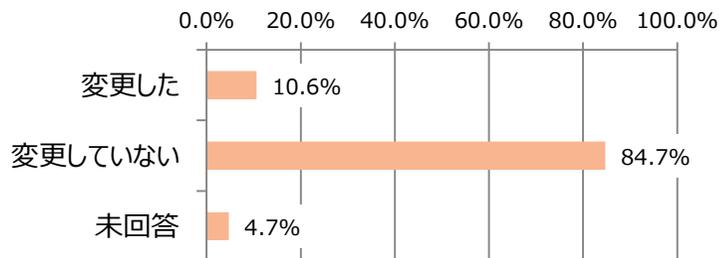
発送数	回答数	回答率
4,998	1,141	23.2%

●「アドバイザー薬局一覧表」は参考になったか (n=341)



参考になった	参考にならなかった
<ul style="list-style-type: none">・近くにアドバイザー薬局があることを知ることができた。・いろいろ相談することができた。・自分の都合にあう薬局を見つけられた。・気軽に相談できる薬局があって安心。・将来のために参考になった。	<ul style="list-style-type: none">・文字が小さかった。見づらかった。・いつも行っている薬局を変更するつもりはないので。・病院の近くにある薬局に行く方が便利なので。

●「アドバイザー薬局一覧表」を見て、薬局を変更したか (n=340)

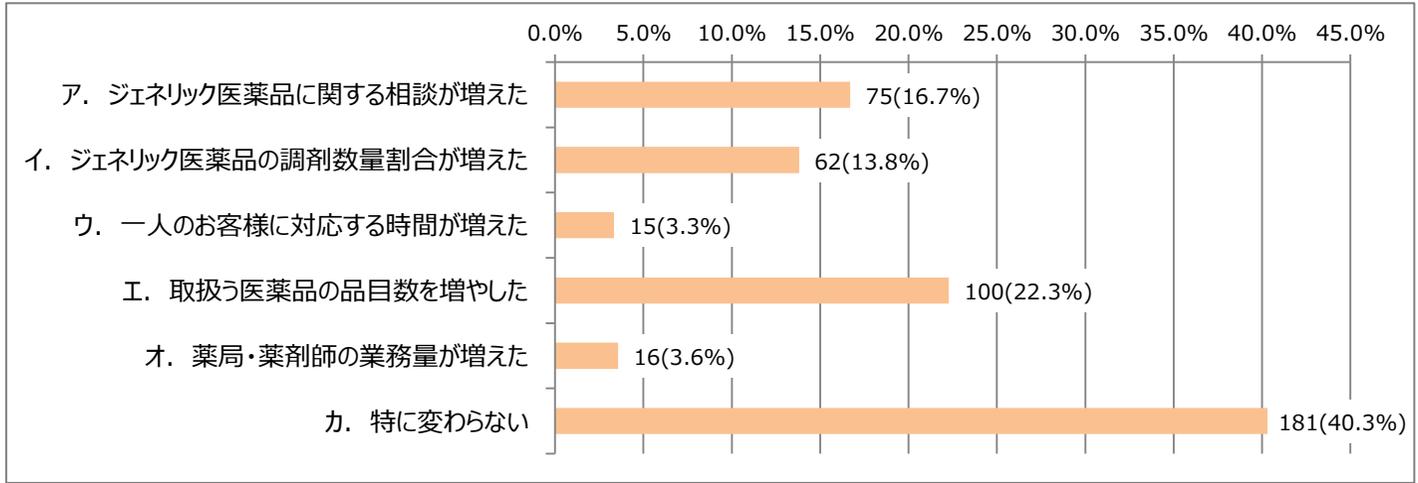


② 実施結果

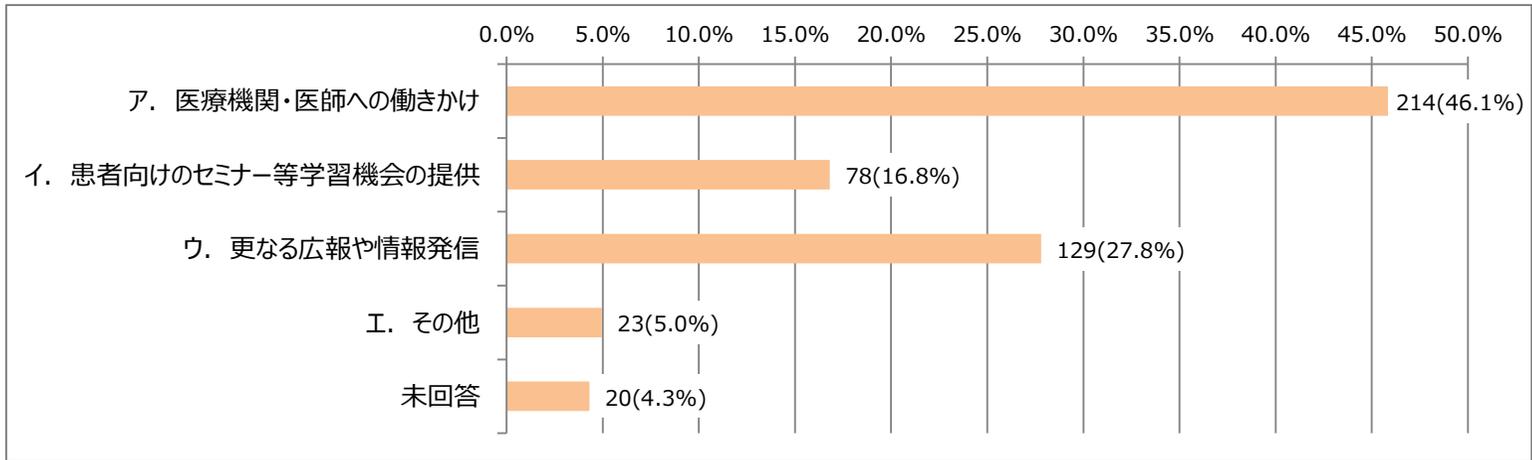
◆調剤薬局向けアンケート◆

発送数	回答数	回答率
474	325	68.6%

●アドバイザー薬局事業実施後、業務にどのような変化があったか（複数回答可、n=449）



●更なる使用促進のために、協会けんぽ（保険者）に望むことは（複数回答可、n=464）



③ 効果分析及び今後の方針

➤ 事業の費用対効果

29年度 1 回目の軽減額通知における青森支部加入者の切替率は29.2%（切替者数13,187人）となっている。このうち、今回の事業によるものを明確にすることは困難だが、アンケートでは10.6%の人が薬局を変更したと回答している。このことから

切替者数：支部の切替者数 12,687人^{※1} × 10.6% = 1,344.822人

軽減効果額：1,649円^{※2} × 1,344人 = 2,216,256円

に近い効果があったものと推定すると、事業経費約188.1万円を上回っており一定の効果があったものとみなすことができる。

※1 「アドバイザー-薬局一覧表」が同封された者（青森県に住所を有する者）の中での切替者数

※2 青森支部加入者の切替者一人当たり軽減効果額

➤ 全国展開の実現可能性

全国展開を考えた場合、事業実施にかかる費用はそれほど大きくならないが、今回のように薬局の一覧表を軽減額通知に同封するという方法では、支部により薬局数が異なってくるため一覧表のページ数等も変わってくるという難点がある。全支部同様のやり方ができるとは言い難く、各支部にあったやり方を検討するのが良いと考える。

③ 効果分析及び今後の方針

➤ 考察

切替率において当初の期待を上回るような大幅な伸びはなかった。ただし、加入者、調剤薬局双方にアプローチしたことで、意識・行動の変化のきっかけの一つになったのではないかと考える。また、効果測定の一環として実施したアンケートにより加入者、薬剤師双方の声を聴くことができた。今回の結果を今後の支部事業に活かし、更なる使用促進に取り組んでいきたい。

ジェネリック医薬品の使用促進に関しては、様々な要素が複合的に影響しあって結果に結びついてくるため、今事業のように加入者への有益な情報提供と医療提供側への働きかけを同時に継続的に実施していくことで良い効果を生み出していきたい。

ジェネリック医薬品使用促進に関するアンケート (加入者)

1 概要

事業の効果測定、及びジェネリック医薬品の使用促進に繋げることを目的に、事業に参加していただいた調剤薬局へアンケート調査を実施した。

対象：29年度第1回目の軽減額通知送付者のうち、青森県に住所を有する者を無作為に抽出
方法：郵送
期間：平成30年1月

アンケートにご協力ください

お忙しい中恐れ入りますが、平成30年1月26日までに郵送願います。

※あてはまる項目に（○）をしてください。

問① ご自身について教えてください。

・お住まいの場所 _____ 市・町・村
・保険証の区分 本人 ・ 家族
・性別 男 ・ 女
・年代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

問② 8月下旬にお送りしております「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」をご覧になりましたか？

ア. はい →問③へお進みください
イ. いいえ →以上で終了となります。ご協力ありがとうございました。

問③ 「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」をご覧になって、服用するお薬をジェネリック医薬品に切り替えましたか？

ア. 切り替えた（切り替えを考えている） →問④へお進みください
イ. 切り替えていない（切り替える予定はない） →問⑩へお進みください

問④ 「お知らせ」と一緒に「アドバイザー薬局一覧表」（ジェネリック医薬品の取扱いに積極的な薬局の一覧表）を同封いたしておりましたが、お薬は「アドバイザー薬局一覧表」に掲載されている薬局で受け取られましたか？

ア. はい →問⑤へお進みください
イ. いいえ →問⑩へお進みください

問⑤ 「アドバイザー薬局一覧表」は参考になりましたか？

ア. 参考になった →問⑥へお進みください
イ. 参考にならなかった →問⑦へお進みください

問⑥ 参考になった点・理由をお聞かせください。（例：近くにアドバイザー薬局があることを知ることができた） →記入後は、問⑧へお進みください

問⑦ 参考にならなかった理由・改善した方がよい点などをお聞かせください。（例：文字が小さく見辛かった） →記入後は、問⑧へお進みください

問⑧ 「アドバイザー薬局一覧表」をご覧になって、お薬を受け取られる薬局を変更しましたか？ →記入後は、問⑨へお進みください

ア. 変更した イ. 変更していない

問⑨ 薬局でジェネリック医薬品アドバイザー薬局のステッカー・ミニのぼりを見かけたことはありますか？ →記入後は、問⑩へお進みください

ア. 見たことがある イ. 見たことがない

問⑩ 薬剤師の方はジェネリック医薬品について、丁寧に説明してくれましたか？ →記入後は、問⑪へお進みください

ア. 丁寧に説明してくれた イ. そうは感じられなかった

問⑪ 今後もこのような情報を提供してほしいと思いますか？ →この質問でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。

ア. 思う イ. 思わない

問⑫ ジェネリック医薬品に変更しなかった理由をお聞かせください。

ア. ジェネリック医薬品について、よく分からない
イ. ジェネリック医薬品について、安全性や効果に疑問を感じる
ウ. ジェネリック医薬品に切り替えても、あまり安くない
エ. 医師から、ジェネリック医薬品への変更はできないと言われている
オ. 通っている調剤薬局にジェネリック医薬品が無い
カ. その他（ _____ ）

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

② 集計結果

◆発送・回答状況

発送数	4,998	—
回答数	1,141	23.2%
宛所不明により返送	84	1.7%

※以降の設問において、本来回答する必要がない設問に回答があった場合は、それぞれに件数をカウントした。

問① ご自身について教えてください。

◆お住まいの場所

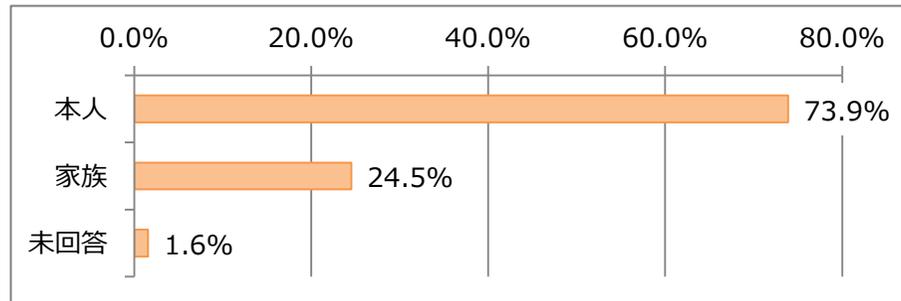
	回答数	割合
青森市	290	25.4%
八戸市	207	18.1%
弘前市	158	13.8%
十和田市	64	5.6%
五所川原市	44	3.9%
むつ市	42	3.7%
三沢市	38	3.3%
つがる市	26	2.3%
黒石市	22	1.9%
平川市	19	1.7%
おいらせ町	18	1.6%
七戸町	18	1.6%
南部町	15	1.3%
五戸町	14	1.2%
中泊町	14	1.2%
階上町	13	1.1%
藤崎町	13	1.1%
野辺地町	12	1.1%
平内町	11	1.0%

	回答数	割合
三戸町	10	0.9%
東北町	10	0.9%
横浜町	9	0.8%
田舎館村	8	0.7%
大鰐町	7	0.6%
未回答	7	0.6%
六戸町	7	0.6%
鱒ヶ沢町	6	0.5%
板柳町	6	0.5%
鶴田町	6	0.5%
深浦町	6	0.5%
田子町	5	0.4%
六ヶ所村	5	0.4%
今別町	3	0.3%
東通村	3	0.3%
外ヶ浜町	2	0.2%
蓬田村	2	0.2%
東田沢村	1	0.1%
合計	1141	100%

② 集計結果

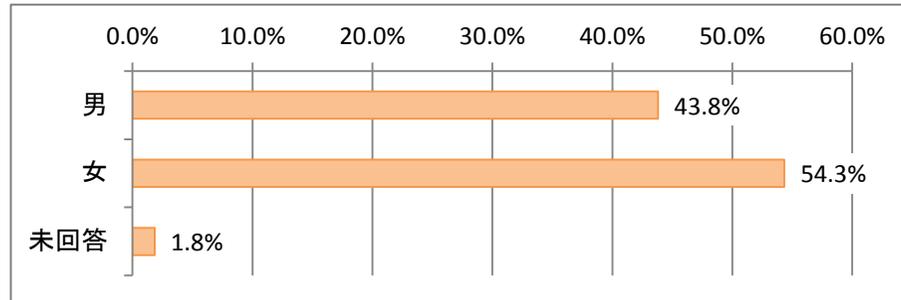
◆保険証の区分

	回答数	割合
本人	843	73.9%
家族	280	24.5%
未回答	18	1.6%
合計	1,141	100%



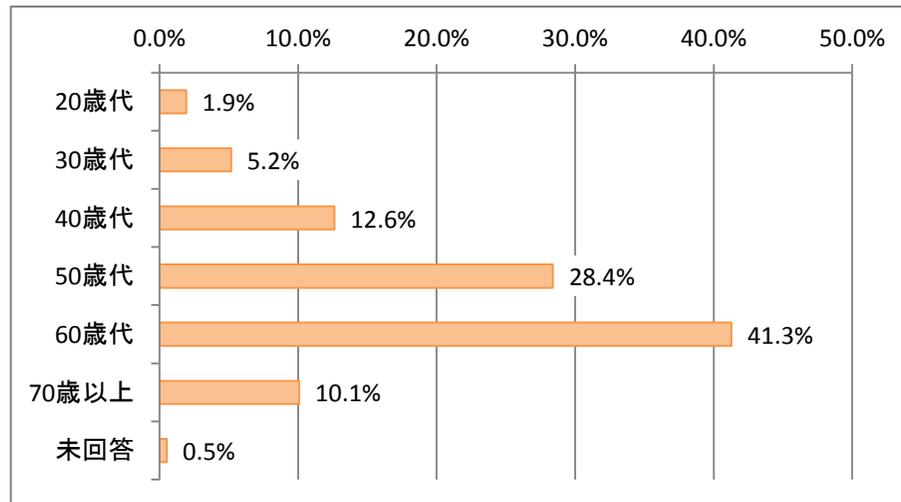
◆性別

	回答数	割合
男	500	43.8%
女	620	54.3%
未回答	21	1.8%
合計	1,141	100%



◆年代

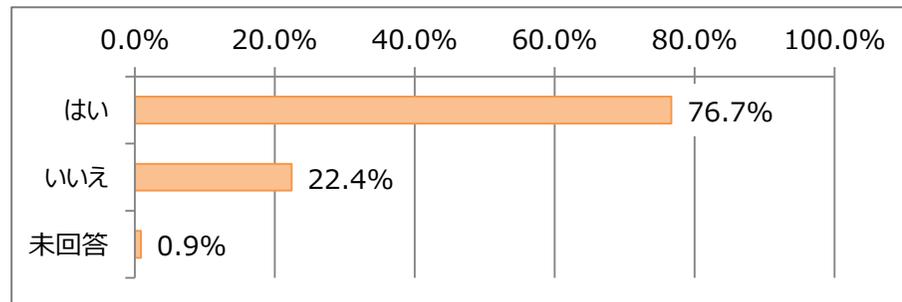
	回答数	割合
20歳代	22	1.9%
30歳代	59	5.2%
40歳代	144	12.6%
50歳代	324	28.4%
60歳代	471	41.3%
70歳以上	115	10.1%
未回答	6	0.5%
合計	1,141	100%



② 集計結果

問② 8月下旬にお送りしております「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」をご覧になりましたか？

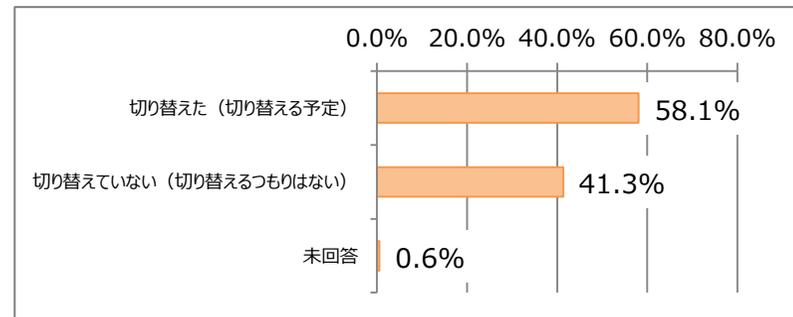
	回答数	割合
はい	875	76.7%
いいえ	256	22.4%
未回答	10	0.9%
合計	1,141	100%



(問②で「はい」と回答した方への設問)

問③ 「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」をご覧になって、服用するお薬をジェネリック医薬品に切り替えましたか？

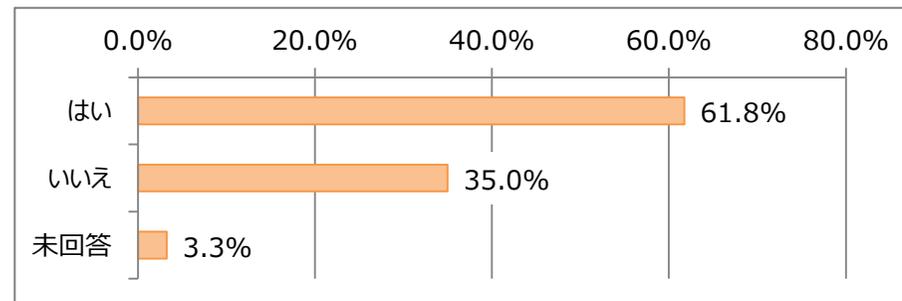
	回答数	割合
切り替えた（切り替える予定）	513	58.1%
切り替えていない（切り替えるつもりはない）	365	41.3%
未回答	5	0.6%
合計	883	100%



(問③で「切り替えた（切り替えを考えている）」と回答した方への設問)

問④ 「お知らせ」と一緒に「アドバイザー薬局一覧表」（ジェネリック医薬品の取扱いに積極的な薬局の一覧表）を同封いたしておりましたが、お薬は「アドバイザー薬局一覧表」に掲載されている薬局で受け取られましたか？

	回答数	割合
はい	323	61.8%
いいえ	183	35.0%
未回答	17	3.3%
合計	523	100%

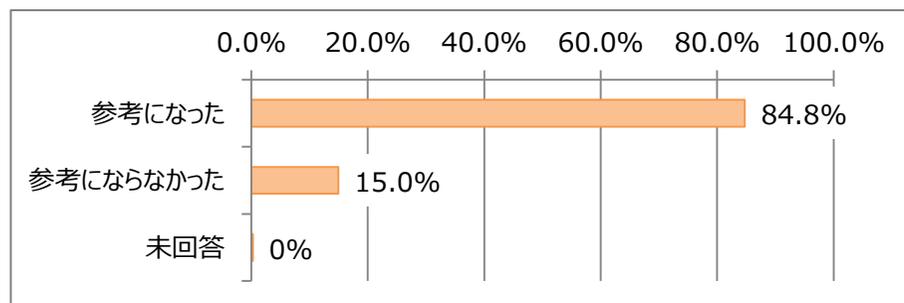


② 集計結果

(問④で「はい」と回答した方への設問)

問⑤ 「アドバイザー薬局一覧表」は参考になりましたか？

	回答数	割合
参考になった	289	84.8%
参考にならなかった	51	15.0%
未回答	1	0%
合計	341	100%



(問⑤で「参考になった」と回答した方への設問)

問⑥ 参考になった点・理由をお聞かせください。

すぐ近くにアドバイザー薬局があることを知ることができた。

ジェネリックに変えると金額が随分違うなあと思いました。

協力する気はあるのでジェネリック処方薬の薬局リストがみれて良かった。

病院に隣接の薬局がアドバイザー薬局だった。

いろいろ相談することができました。

少しでも薬代を節約したいのでアドバイスをもらえるのは大変助かる。

医師と薬局の方から詳しく説明を受けた。

利用している薬局が該当していたので安心感が有る。

前からジェネリック医薬品を使用していたのでこのような情報は必要だと思います。

自分の都合にあう薬局を見つけられた。

薬剤師さんが親切に説明してくれました。

ジェネリック希望のシールを貼り（保険証、お薬手帳）その上で薬局の方へ質問した（アドバイザー薬局であることを知ったから）

アドバイザー薬局へ行ってジェネリックと言うことができた。

お薬をいただいている薬局がリストにのっていたので、気軽に話を聞けた

薬が安くなった。ジェネリックで扱っていない薬はしかたなく使っている。

近所にアドバイザー薬局があり助かっています。

アドバイザー薬局について知ることができました。かかりつけ医院でジェネリックへの切り替えを相談する機会となりました。

今までお薬を受け取っていた薬局が「アドバイザー薬局一覧表」に載っていたので安心してジェネリック医薬品に変更できた。

近くにはなかったが将来の受診病院を定めることができた。

近くにアドバイザー薬局があるのが驚きでした。

薬局の方が親切にアドバイスしてくれました。

常時飲んでいる薬のうち、丁寧に「これはジェネリックになりますよ」って説明してもらった。

私達個人では分からない事が多くありますから、丁寧に説明してもらいとても安心です。さらにお安くなるのはありがたいと思います。

会社の近くにあった。

できるだけジェネリックのある薬局を使おうと思う。

自分だけではなく家族の薬に対しても相談出来るのが良かったと思います。

医療費に対する意識が高まった。医療費を削減するために私達もいろいろな情報をもらって考えていかなくてはと思いました。

ジェネリックが今まで飲んでいる薬の効果と同じ位だと聞きました。価格が安価なので半信半疑です。

アドバイザー薬局があることを知ることによって心強く感じる。

自分の行っている病院の近くの薬局で取り扱っているのか知る事ができました。

薬局変更時にアドバイザー薬局の担当者から改めて説明を受けた。

私の場合は何か所も受診しているため、ジェネリックなのかわかりませんので大変安い料金になり助かっています。ありがとうございます。

病院の先生なかなかジェネリックを進めてはくれませんが、処方せんを持っていくと調剤薬局のほうでよく進められますが今までは変えることが出来なかったのですが最近思い切ってジェネリックに1病院の薬を変えました。私は12月病院5件も通いお薬代はかなりの不担です。

力になってくれて安心です

ジェネリック医薬品については聞いたことがあったが、薬の効果等についてはよく知らなかったため、薬局からの説明でよくわかった。

薬剤師に気軽に話げできた

以前はジェネリックを扱ってなかったが、薬局に相談したら自分の薬を扱ってくれた。

同一成分でも剤型や有効成分以外の形成素材によって効力が変わるので自分にあう処方を相談できる先がたくさんあったこと

安くなる事は分かったが、安全性や効果に疑問を感じてる。

詳しく説明していただいた（いつ頃発売？になるとか）

② 集計結果

(問⑤で「参考にならなかった」と回答した方への設問)

問⑦ 参考にならなかった理由・改善した方がよい点などをお聞かせください。

文字が小さく見えにくい。A4タイプだと良い。

小さ過ぎて見れません。医師が決定権があり一蹴されました。

通院してる病院の前の薬局を利用するのが便利だから。

参考にならなかった訳ではありませんが、私は2か所の病院に行っていますが、1か所は変えて良かったです。もう一か所の方は今飲んでる薬のジェネリックはありませんと言われてそのままです。

診療時に医師からジェネリックの事を提案する言葉をもらい、次に薬局でジェネリックの説明をされると、一層患者側にも理解・納得してもらえるのではないかと思う。

いつもジェネリックでお願いしているので特別気にしなかった。

かかりつけの病院の近くの薬局に行っている。リストにあったかもしれないが、薬局を替えるつもりがなく確認していない。

一覧表の文字は、アンケートのような字体が読みやすい。

いつも行っている薬局でお薬をもらうのでわざわざアドバイザー薬局へ行く事はないのでは。今ほどの薬局でもジェネリック医薬品について説けるのではないのでしょうか。

薬局を変えるのが面倒でいつものところへ行ってしまうから。

病院にまかせていればいいかなあと思っています。

薬を製造するのに小麦粉を使用すると聞きましたが、その量によって価格が違うとも聞きました。

病院のとなりにある薬局にいくため。あまり参考にしなかった。

病院に隣接した調剤薬局でないとその場で出せない薬が多いから、参考にするとかではなく隣接した所へ行っている。

薬局を中心に考えていなくて病院を中心に薬局に行くことになるため。

やはり文字が小さくちょっと見づらいところが分かりにくかったですね。分かりやすく説明して書いてくれると良いと思います。

病院の近くの薬局が一番いいので一覧表を見てもらいに行ったわけではない。使っている薬のジェネリックのお知らせが来たが薬局では取扱いしてないものもあり全てはジェネリックにならなかった。

いつもの薬局で扱っていたから。

病院に近い薬局に行っている。ジェネリック医薬品の取り扱いがあれば購入しているだけなので一覧表は意識していない。

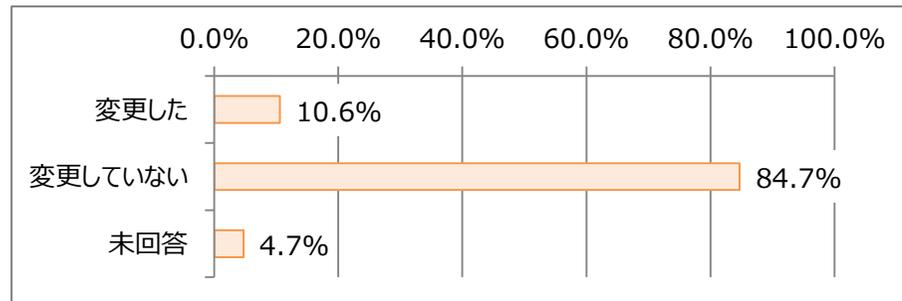
どこでもジェネリックあるので。

「参考にならなかった」と回答した方のうち、「字が小さくて分かりづらい」等の意見が31.4%、「薬局を変更するつもりがない」等の理由が31.4%だった。

(問④で「はい」と回答した方への設問)

問⑧ 「アドバイザー薬局一覧表」をご覧になって、お薬を受け取られる薬局を変更しましたか？

	回答数	割合
変更した	36	10.6%
変更していない	288	84.7%
未回答	16	4.7%
合計	340	100%

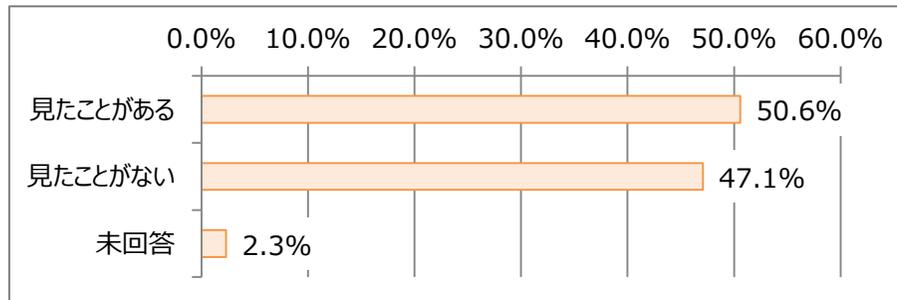


② 集計結果

(問④で「はい」と回答した方への設問)

問⑨ 薬局でジェネリック医薬品アドバイザー・薬局のステッカー・ミニのぼりを見かけたことはありますか？

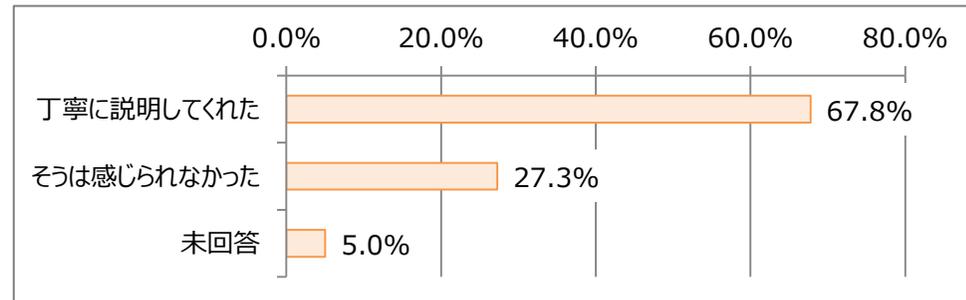
	回答数	割合
見たことがある	174	50.6%
見たことがない	162	47.1%
未回答	8	2.3%
合計	344	100%



(問④で「はい」と回答した方への設問)

問⑩ 薬剤師の方は、ジェネリック医薬品について丁寧に説明してくれましたか？

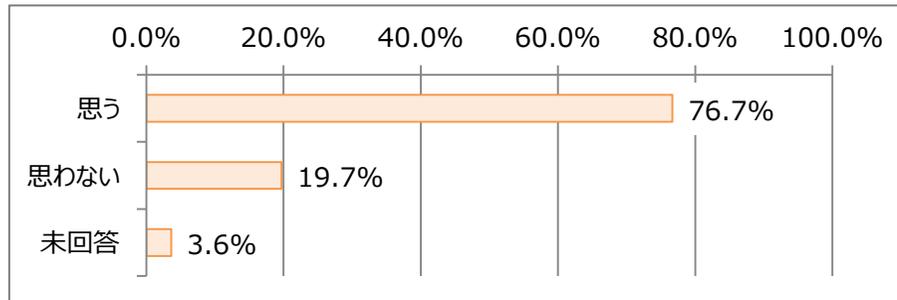
	回答数	割合
丁寧に説明してくれた	353	67.8%
そうは感じられなかった	142	27.3%
未回答	26	5.0%
合計	521	100%



(問④で「はい」と回答した方への設問)

問⑪ 今後もこのような情報を提供してほしいと思いますか？

	回答数	割合
思う	401	76.7%
思わない	103	19.7%
未回答	19	3.6%
合計	523	100%

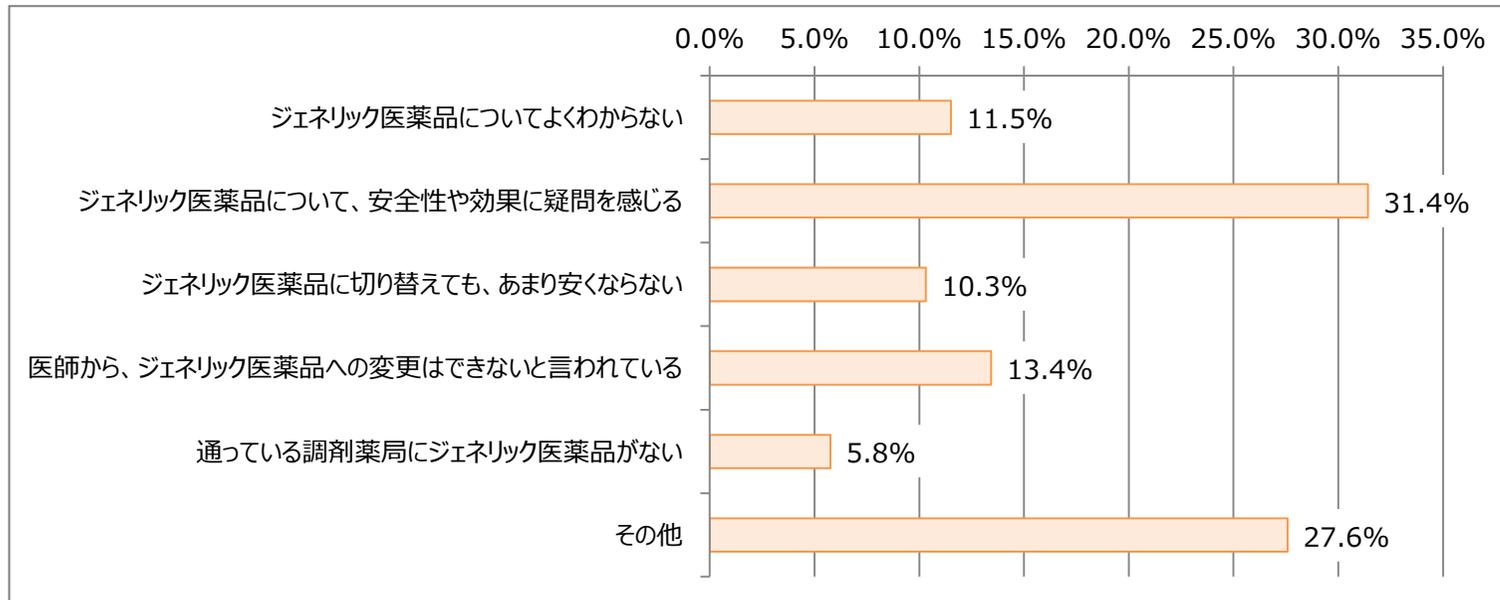


② 集計結果

(問③で「切り替えていない（切り替える予定はない）」と回答した方への設問)

問⑫ ジェネリック医薬品に変更しなかった理由をお聞かせください。

	回答数	割合
ジェネリック医薬品についてよくわからない	48	11.5%
ジェネリック医薬品について、安全性や効果に疑問を感じる	131	31.4%
ジェネリック医薬品に切り替えても、あまり安くならない	43	10.3%
医師から、ジェネリック医薬品への変更はできないと言われている	56	13.4%
通っている調剤薬局にジェネリック医薬品がない	24	5.8%
その他	115	27.6%
合計	417	100%



② 集計結果

主治医が出した通りにしています。

以前変更したが合わなかった。

以前医師に相談しジェネリックにしたが合わず、医師から元に戻すよう言われジェネリックを辞めた。

何度かジェネリック医薬品を服用したが皮膚がかゆくなったり、肌が黒くなったりしたために最初に処方された薬に戻してもらった。

医師に言えない

一度飲んだけど体質に合わなかったと思います。

医師の指示通りにしている。

薬剤師が親切に接しているとは思えない。面倒な顔をするので話したくない。

担当医師に相談したところジェネリックの主成分の配合量が先発品より少なく副成分の臨床試験を通過していない、もしくは公に認められていないなど、リスク開示がされていないものがあり、勧められないということで切替をしておりません。医療費削減の為にだけにジェネリックを勧め、ジェネリックによる副作用で健康を害してしまうことがあれば、何の為にジェネリックが疑問に感じます。薬の安全性をもっと考えて勧めるべきです。

同じ成分だときいたが効果に差があった事があったので。(自分ではないが)

一度替えたが使いごちと効き目が悪かったから元に戻しました。例、シブ、痛み止め

薬局の人に先生の意向でジェネリックにできないと言われた。自分としては同じものなら安くなるジェネリックに変えたいのですが。

他の薬品はジェネリックに切り替えたが、モーラステップはジェネリックだと粘着が強くてかぶれることがあるため。

医師から、ジェネリック医薬品への変更はできないと言われている

通っている医師がジェネリックが嫌いらしい。

現在利用しているアレルギー薬は様々な薬を試した中で一番合ったものであり、変更する予定はない。

ジェネリック医薬品を服用し効果を感じないことがあった。

病院によって変更できないと言われた事がある。

医師に変更したいと言えません。

先生が指示している薬品を勝手に変えると信頼関係が無くなるため。

医師の指示通りにして医師の感情を悪く出来ないため。もっと医師への指導をお願いしたい。

難病指定の病気なので替えるのが怖い感じがする。知り合いが変えたら体調が悪くなった人がいる。

受付に申し出たが、「当院の医師はジェネリックを使いません」と言われた。

薬局が積極的に取り組む姿勢があるのでしょうか？薬局側は積極的にアドバイザー薬局としての役割を果たそうとしているように思えなかった。一覧表の意味がない。

臭いが気になるため、夏と冬で変更している

飲み慣れているので変更したくない

医師にジェネリックにしたいと言いつらい

ジェネリックは信用していないと医師から言われた。私は変えたいと思っているが、

医師から効果の疑問を言われた

湿布のジェネリックを使用した、はがれ易くてイライラしたのでやめた。

院内処方のため変更できなかった。病院で該当する薬のジェネリックは扱っていないと言われた。変更できないのに、毎年毎年送ってきて経費のムダだと思った。個々に合わせて送るべき。

使用中薬品（15年間使用している）で症状の進行が抑えられており変更する勇気がない

以前変更した事があったが、変なおいがあり、吐くことがあり、かえって体調を崩した為。薬の副作用により、以前救急搬送された事があり、十分注意しており、現在が自分にとってベストな状態であり、変更する気持ちはないです。

周りの人達はあまり効かないと言っているので考えてしまいます。

毎月通院していますが薬に関しては医師が状態を診て決めています。私からジェネリックにしてほしいとは言いきりです。

一度変更した時から、しっしんが出て、消えそうになると他のところに出て、1年以上それが続いて、あまりに辛くてやめました。今は出ていません。

外用薬をジェネリックにしたが合わなかった。出来る薬はもう替えている。

ジェネリックに変えてほしいと言ったら、逆にうちの病院（皮膚科）では取扱いしていないと怒られた。安くしたいのに本当に頭にきました。

私は8年前OPをしていてDrよりなるべくジェネリック医薬品を服用してはいけないとアドバイスを受けています。

血圧の薬だけはジェネリックではないが、耳鼻科の時はジェネリックにしている。(今の薬で落ち着いているので)

アレルギーやあわない降圧剤があるため(高血圧症です)

主治医があまり推めないで・・・

医師からジェネリック医薬品は質が悪いと言われた。

一度変更したが(湿布)使い勝手が(伸びが悪い)悪かった為

現在の薬で症状が安定しているから。

先生に任せている状況です。今後は少しずつ先生に問合せて行きます。

前のかかりつけ医がジェネリック医薬品に積極的でなかったため思い切ってかかりつけ医を変えました。やはり処方箋を出すのはお医者様ですから、病院やお医者さんにも積極的になるよう働きかけていたきたいです。

院内処方のためジェネリック医薬品がない。

ジェネリック医薬品使用促進に関するアンケート (調剤薬局)

1 概要

事業の効果測定、及びジェネリック医薬品の使用促進に繋げることを目的に、事業に参加していただいた調剤薬局へアンケート調査を実施した。

対象：アドバイザー薬局 ※調査実施時点で廃止・休止となった薬局を除く。

方法：郵送（一部薬局には訪問）

期間：平成30年1月

アンケートにご協力ください

お忙しい中恐れ入りますが、平成30年1月26日までに郵送願います。

※あてはまる項目に（○）をしてください。

問① 貴薬局の所在地（市町村名）をご記入ください。

_____ 市・町・村

問② 8月に「アドバイザー薬局」ステッカーとミニのぼりをお送りしましたが、店内に設置していただけましたでしょうか。

- ◆ステッカー 設置した ・ 設置していない
◆ミニのぼり 設置した ・ 設置していない

問③ 8月下旬に協会けんぽの加入者へ「ジェネリック医薬品軽減額通知」*1と「アドバイザー薬局一覧表」*2を郵送いたしました。その後の業務にどのような変化がありましたか？（複数回答可）

*1 ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減減額に関するお知らせ
*2 アドバイザー薬局事業に参加している薬局の一覧表

- ア. ジェネリック医薬品に関する相談が増えた（1月あたり_____人程度増加）
イ. ジェネリック医薬品の調剤数量割合が増えた（_____％程度増加）
ウ. 一人のお客様に対応する時間が増えた（_____分程度増加）
エ. 取扱う医薬品の品目数を増やした
オ. 薬局・薬剤師の業務量が増えた
（記載欄 _____）
カ. 特に変わらない

問④ 上記問③のほか感じられたことはありますか？（複数回答可）

- ア. 協会けんぽ以外の保険者（国保など）の加入者の相談件数も増えた
イ. 協会けんぽ以外の保険者（国保など）の加入者の変更希望も増えた
ウ. かかりつけ薬局・薬剤師の指名・登録が増えた
エ. その他
（ _____ ）

問⑤ 青森県において、今後更にジェネリック医薬品使用促進のために必要なことはどのようなこととお考えですか？

（回答欄）

問⑥ 更なるジェネリック医薬品使用促進のために、協会けんぽ（保険者）に望むことは何ですか？（複数回答可）

- ア. 医療機関・医師への働きかけ
イ. 患者向けのセミナー等学習機会の提供
ウ. 更なる広報や情報発信
エ. その他
（ _____ ）

問⑦ ジェネリック医薬品への変更を希望されない方は、どの年齢層が多いと感じますか？また、理由としてはどのようなものが多いと感じますか？

20代男性 ・ 30代男性 ・ 40代男性 ・ 50代男性 ・ 60代男性 ・ 70代男性
20代女性 ・ 30代女性 ・ 40代女性 ・ 50代女性 ・ 60代女性 ・ 70代女性

- ア. 長年服用している薬を変えることへの抵抗感
イ. 安いものは品質・効果・安全性も低いという思い込みや不安感
ウ. 外国産、粗悪品といった間違ったイメージ
エ. 医師が勧めない
オ. 以前使用したが、効き目や使用感に違和感があった
カ. その他
（ _____ ）

問⑧ 県薬剤師会と協会けんぽ青森支部が、県民の健康づくりに向けた連携協定を締結いたしました。今後協働してどのような取組みが可能と思われますか？

- ア. 更なるジェネリック医薬品の使用促進
イ. 医薬品の適正使用に関する啓発（残薬、多剤併用等）
ウ. かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師の普及
エ. 糖尿病等の重症化予防事業
オ. その他
（ _____ ）

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

② 集計結果

◆ 発送・回答状況

発送数	474	—
回答数	325	68.6%
宛所不明により返送	0	0%

※以降の設問において、単一回答を求めた設問に対し複数回答があった場合は、それぞれに件数をカウントした。

問① 貴薬局の所在地（市町村名）をご記入ください。

所在地	回答数	割合
青森市	76	23.4%
八戸市	71	21.8%
弘前市	58	17.8%
五所川原市	21	6.5%
十和田市	15	4.6%
むつ市	14	4.3%
黒石市	11	3.4%
三沢市	8	2.5%
平川市	7	2.2%
五戸町	5	1.5%
おいらせ町	4	1.2%
大鰐町	4	1.2%
板柳町	3	0.9%
三戸町	3	0.9%
外ヶ浜町	3	0.9%

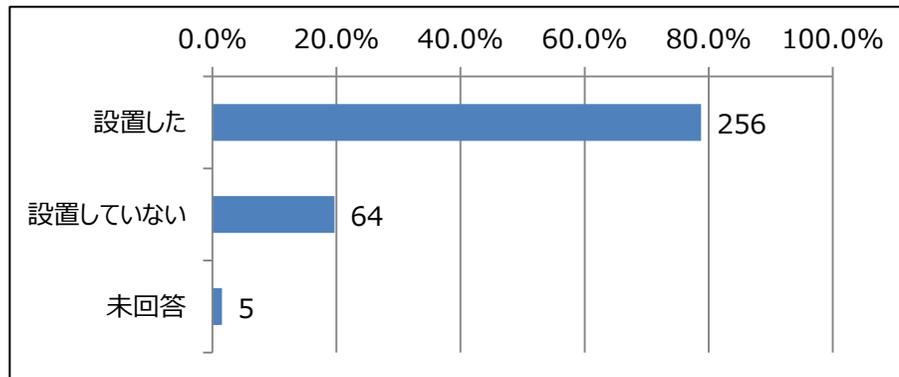
所在地	回答数	割合
東北町	3	0.9%
南部町	3	0.9%
七戸町	2	0.6%
つがる市	2	0.6%
平内町	2	0.6%
大間町	1	0.3%
田子町	1	0.3%
鶴田町	1	0.3%
野辺地町	1	0.3%
階上町	1	0.3%
深浦町	1	0.3%
藤崎町	1	0.3%
横浜町	1	0.3%
六戸町	1	0.3%
六ヶ所村	1	0.3%
合計	325	100%

② 集計結果

問② 8月に「アドバイザー薬局」のステッカーとミニのぼりをお送りいただきましたが、店内に設置していただきましたでしょうか。

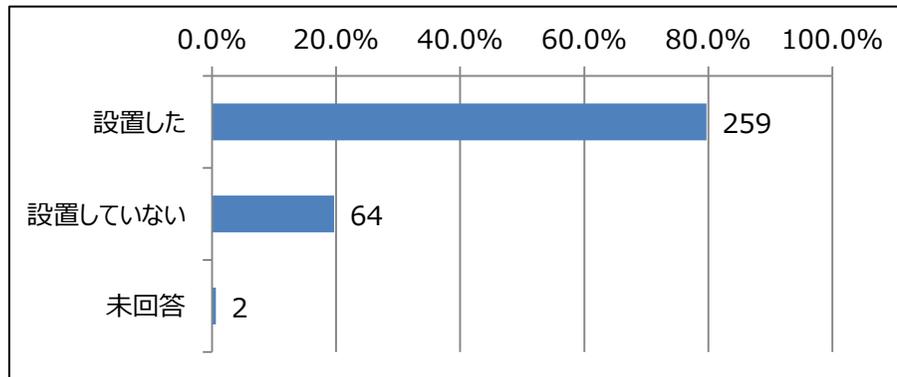
◆ステッカー

	回答数	割合
設置した	256	78.8%
設置していない	64	19.7%
未回答	5	1.5%
合計	325	100%



◆ミニのぼり

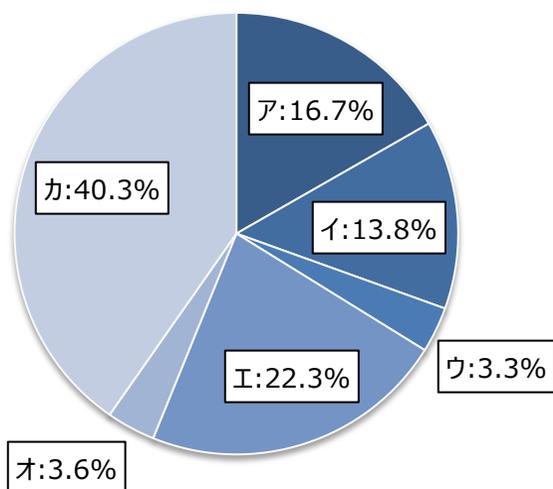
	回答数	割合
設置した	259	79.7%
設置していない	64	19.7%
未回答	2	0.6%
合計	325	100%



② 集計結果

問③ 8月下旬に協会けんぽの加入者へ「ジェネリック医薬品軽減額通知」と「アドバイザー薬局一覧表」を郵送いたしました。その後の業務にそのような変化がありましたか？（複数回答可）

	回答数	割合
ア. ジェネリック医薬品に関する相談が増えた	75	16.7%
イ. ジェネリック医薬品の調剤数量割合が増えた	62	13.8%
ウ. 一人のお客様に対応する時間が増えた	15	3.3%
エ. 取扱う医薬品の品目数を増やした	100	22.3%
オ. 薬局・薬剤師の業務量が増えた	16	3.6%
カ. 特に変わらない	181	40.3%
未回答	0	0.0%
合計	449	100%



- ア. ジェネリック医薬品に関する相談が増えた
- イ. ジェネリック医薬品の調剤数量割合が増えた
- ウ. 一人のお客様に対応する時間が増えた
- エ. 取扱う医薬品の品目数を増やした
- オ. 薬局・薬剤師の業務量が増えた
- カ. 特に変わらない

【自由記載欄】（主なもの）

- ◆ 相談件数に関して
 - ・30人程度増加
 - ・10人程度増加
 - ・5～10人程度増加。当然やるべきことをしている。
 - ・5～6人程度増加
 - ・2～3人程度増加
- ◆ 調剤数量割合に関して
 - ・15%程度増加
 - ・10%程度増加
 - ・9.09%増えた
 - ・1.4%程度増加
 - ・1～2%程度増加
- ◆ お客様への対応時間に関して
 - ・5分程度増加
 - ・3分程度増加
- ◆ その他
 - ・説明に時間がかかります
 - ・ジェネリックを増やした
 - ・ジェネリックは積極的に行っていたので変わりなし
 - ・店内の配置等を見直した
 - ・ジェネリック医薬品の説明が増えた
 - ・理解してもらうための説明に時間がかかる
 - ・通常ジェネリック変更確認している。発売になるとお知らせしている。
 - ・変更説明する業務量が増えた

② 集計結果

問④ 上記問③のほかに感じられたことはありますか？

	回答数	割合
ア. 協会けんぽ以外の保険者（国保など）の加入者の相談件数も増えた	30	8.6%
イ. 協会けんぽ以外の保険者（国保など）の加入者の変更希望も増えた	62	17.9%
ウ. かかりつけ薬局・薬剤師の指名・登録が増えた	3	0.9%
エ. その他	78	22.5%
未回答	174	50.1%
合計	347	100%

【自由記載欄】（主なもの）

- ・子供がキャラクターの可愛さから興味を持つケースがある
- ・通知があったと知らせる患者さんが何人かいた。
- ・協会けんぽのおかげか以前先発希望の方々がGEへ変更しても大丈夫ということが増えてきた。
- ・処方薬が変わるたびにジェネ希望を伺っているので特に変化はなし。
- ・もともとGEをすすめていたので特に増えたとは思わない。
- ・変更した後のトラブルも増えた
- ・全くジェネリックのことを知らない方自体が減ってきているので、説明が以前よりもスムーズになっている気がします。
- ・ジェネリック医薬品という理解度が増した
- ・ジェネリック医薬品の認知度は上がった。
- ・変わらずに推移
- ・ジェネリック医薬品に関する質問が増えた
- ・負担金がある場合はジェネリックで、負担金がない場合は先発を希望するケースが以外と多い。（同じ家族内で）
- ・ちょっとステッカーの数が多すぎて、使いきれずちょっともったいないと思います。
- ・患者様のGE変更への抵抗感が小さくなってきていると感じる
- ・GEへ変更するよう案内がきたと質問されることが増えた
- ・協会けんぽ様からの郵送の手紙を窓口を持参し変更する患者様が数名いらっしゃいました。
- ・保険証にジェネリック希望シールを貼っている方をちらほら見かける
- ・あまり変化は実感として感じられませんでした
- ・医師の指示、患者の希望以外のジェネリックへの変更は、ほぼ完了している状態なので、大きな変化はなかったと思う。
- ・オーソライズドジェネリックをこちらから勧め、全く同じであることを説明したところ、別の薬局に行く様になった患者さんが数名おります。

② 集計結果

問⑤ 青森県において、今後更にジェネリック医薬品使用促進のために必要なことはどのようなことだとお考えですか？

ジェネリックは安かろう悪かろうといった誤ったイメージを払拭するため、生産国や品質の情報を示すとともに回収情報なども示し科学的根拠を前面に押し出すこと

ジェネリック医薬品が先発医薬品と同等ということをもっと強くPR。処方元となる医療機関での患者さんへの説得。

ジェネリックは安全であるということの働きかけ、医師による後発品変更不可を減らしてほしい

公立病院においてGE薬の名柄指定をしない!! 当薬局在庫から調剤できないことがある。

良くわからないので先発品のままでよいという患者は多い。実際、先発品とジェネリックは全く同じものではない。説明することが仕事だが、説明が難しい。AGを多く採用して、先発品と同じ品質だと説明している。

一般名処方が増えると薬局ではジェネリックを調剤しやすいので、一般名処方をもっと普及すると良いと思う。

ジェネリック促進も必要ですが、その前に「子供達の医療費ただ」というのを少しでも負担あった方がよいと思われます。必要でなくても軟膏など多くもらう

GEが安全で切り替えることで得になっていること、なおかつ周囲の普及もどんどん進んでいることをもっとアピールしてよいと思う

医療費助成で窓口負担金のない方が先発品を希望する場合、負担金が発生しても良いのではないかとと思う。

ジェネリックに対する不安を訴える患者様が多い様に感じます。払拭できる（させる）様な何かが必要だと思えます。又、生活保護の患者様は会計が発生しない為、先発品を希望する方が多く見受けられます。意識づけも大切だと思えます。

すぐに手配できるよう卸も在庫を潤沢に持っていること

テレビなどの影響なのか安価だと効果がない、副作用がおきるなどの考え方を持っている方もまだ多いので、安全安心など周知させていただきたいと思う。

GE医薬品を使用することが国の医療費の抑制になることを理解してもらうこと

ジェネリック（後発医薬品）が何かを知らない人が多いので知ってもらうこと、説明しても面倒なようで「いつものにして」と言われることが多い

医師の変更不可禁止、先発品と同等であることの証明、患者の先発選択時の負担増

GE使用を拒否する人は老人に多いと思います。特に女性、乳児のお母さんへの働きかけ

② 集計結果

医師が（意味や根拠の無い）ジェネリック変更不可の支持をやめるようにすることで

青森県に限らず、GEをつかうことに抵抗のある医師が多い。そういう医師への働きかけ。

処方せんの変更不可欄の廃止、先発処方時の変更可、または一般名処方の通常化

ジェネリックが嫌、意外に“処方箋通り出してほしい”の声も多い。処方の段階で、一般名だとGE進めやすいと思う

処方せんに変更不可欄を無くし、患者や薬剤師が自由に変更できるようになればいい

医療機関への働き掛けの方が重要だと思う。薬局がどんなに頑張ってもチェックがあればどうしようもない。

患者様個々の医療費の削減が日本の医療費削減につながることへの理解が増えるとよい

医師のすすめで先発品を希望する方もいるので、処方医の理解のもとジェネリックをすすめるべき

理由のない後発品変更不可を減らす、患者様への後発品が安全であることの説明

処方せんにおける変更不可欄の廃止、医師の意識改革、処方医のジェネリック品の指定の解除

ジェネリック医薬品の意味がわからない人が多数。ジェネリックにすることへの理解力を高める

ジェネリックのイメージならびに品質、変えても具合が悪いともどってしまうので（それ以降は絶対ジェネリックに変更しない）

近年乳幼児の医療費の無料化が進み、●●市においては昨年10月より無料化が15歳まで広がったため、「薬代がどうせただなら先発医薬品にする」という患者さん（親）が若干増えた。このことはジェネリック促進に逆行する。生保のように無料の場合は原則ジェネリックにする、というふうに決めてもらいたい。

ジェネリックへの変更不可の処方箋を無くして全て一般名処方へと切り替えできると可能

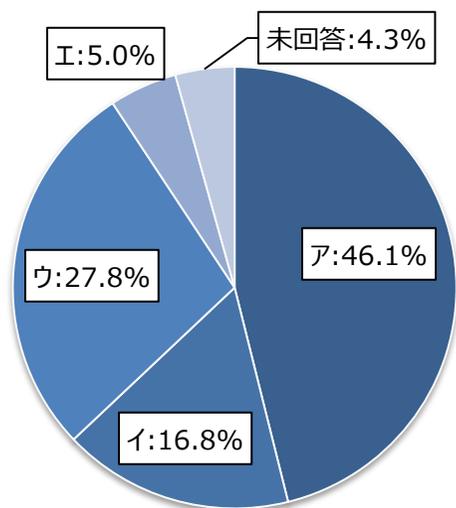
医師が患者に対してジェネリック医薬品の品質等について不安をあおる説明を行っている場合がある為、医師に対する働きかけが必要かと

Dr.が一般名処方とすること。患者から“安かろう悪かろう”のイメージを払拭すること（特にTV、週刊誌）。ジェネリック医薬品のメーカー指定をしないこと。

② 集計結果

問⑥ 更なるジェネリック医薬品使用促進のため、協会けんぽ（保険者）に望むことは何ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
ア. 医療機関・医師への働きかけ	214	46.1%
イ. 患者向けのセミナー等学習機会の提供	78	16.8%
ウ. 更なる広報や情報発信	129	27.8%
エ. その他	23	5.0%
未回答	20	4.3%
合計	464	100%



- ア. 医療機関・医師への働きかけ
- イ. 患者向けのセミナー等学習機会の提供
- ウ. 更なる広報や情報発信
- エ. その他
- 未回答

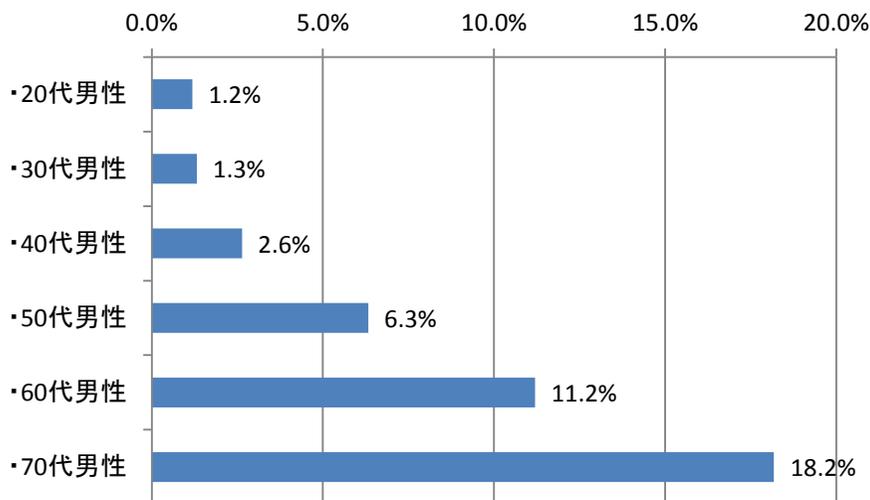
【自由記載欄】（主なもの）

- ・先発品との同等性のアピール
- ・粗悪なジェネリックの排除、品質審査の厳格化
- ・国の薬価結定、メーカーの乱立を見直してほしい
- ・生保患者への働きかけ
- ・十分やって頂いている
- ・ジェネリック切替への案内通知を増やす
- ・患者様がジェネリックというものがよくわかっていなくて、ただはがきがくるとおっしゃっているので、もう少しジェネリックに対する認知が必要だと思います。
- ・間違った情報を流すメディアには正しいクレームを入れること
- ・医師の特定ジェネリックの指定の削除が必要
- ・処方せんの変更不可の「×」は廃止してもらいたい。薬代がかからない患者さんへのGEへの働きかけを強化してもらい
- ・処方医への一般名処方の点数をもっと上げれば使用促進になる。
- ・医師も患者もなかなか理解しておらず、ジェネリック＝悪いもの安かろう悪かろうという考えが未だにある
- ・医師が処方したのと違うメーカーにしたら医師に申し訳ないという患者も多いので、そうではなく薬を決めるのは患者自身という事を国民に知らしめて欲しい
- ・全ては自分たちに降りかかってくるという意識づけ（働きかけ）
- ・文書での案内が届いても何のことか分からない人がまだ多数いる。もちろん薬局では詳しく説明する。
- ・販売中止となる後発医薬品が多いためメーカー変更を余儀なくされ患者との信頼関係も影響がある。なんでもかんでも販売に踏み切るのではなく安定供給も含めて国へ働きかけをして頂きたい
- ・何もする必要はない。広報や情報発信だけで協会けんぽは何かやったつもりにならないでほしい。
- ・現在変更していない人にオーソライズドジェネリックを協会けんぽから案内してほしいです。

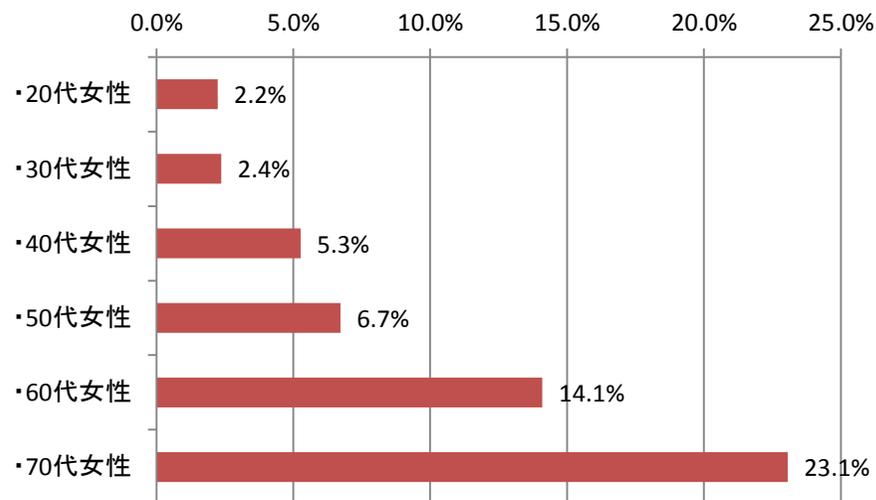
② 集計結果

問⑦ ジェネリック医薬品への変更を希望されない方は、どの年齢層が多いと感じますか？また、理由としてはどのようなものが多いと感じますか？

	回答数	割合
・20代男性	9	1.2%
・30代男性	10	1.3%
・40代男性	20	2.6%
・50代男性	48	6.3%
・60代男性	85	11.2%
・70代男性	138	18.2%



	回答数	割合
・20代女性	17	2.2%
・30代女性	18	2.4%
・40代女性	40	5.3%
・50代女性	51	6.7%
・60代女性	107	14.1%
・70代女性	175	23.1%



	回答数	割合
その他	3	0.4%
未回答	38	5.0%
合計	759	100%

② 集計結果

問⑦ ジェネリック医薬品への変更を希望されない方は、どの年齢層が多いと感じますか？また、理由としてはどのようなものが多いと感じますか？

	回答数	割合
ア. 長年服用している薬を変えることへの抵抗感	213	31.6%
イ. 安いものは品質・効果・安全性も低いという思い込みや不安感	172	25.6%
ウ. 外国産、粗悪品といった間違ったイメージ	44	6.5%
エ. 医師が勧めない	73	10.8%
オ. 以前使用したが、効き目や使用感に違和感があった	120	17.8%
カ. その他	45	6.7%
未回答	6	0.9%
合計	673	100%

【自由記載欄】

以前ジェネリックを使用した時に副作用が出たため全てジェネリックは使いたくない
処方箋通りにして欲しいとの希望（一般名処方が認知されていない）
Drが書いたクスリをもらいたいと言い張る人がいます。
公費保険適用の為、自己負担が少ない方
医師の処方どおり飲みたい
GEがよくわからず、わからない為、抵抗感があるような気がします。わかりやすく説明したつもりでもうまく伝わっていないことも多い感じです
乳幼児への使用にためらうお母さんが多い。ジェネリックを説明しても理解してもらおうのが困難の場合も
特に外用剤の品質に不安をもつ方が多い。シブ材ははがれやすいとか、軟膏・クリーム使用で効果が先発と比べて弱い等あり。メーカーで見直す必要あり。
よくわからないので、とりあえず希望しないという人が多い気がします。
高級品志向、プライド、「負担金がないから高い方でよい」という考え方、面倒くさいのでそのままがよい。いくら説明しても意味が理解できないのでそのまま。
外用剤は使用感が変わるので先発へもどる傾向に有。
同じものとは言われていても実際効果に差が出ているという情報
自己負担が1割の方は薬代の変化が少ない為

② 集計結果

【自由記載欄】

子どもの親が嫌がっている傾向がある
いくら説明しても、ジェネリックそのものの意味を理解できない（理解しようとしにくい）面倒な説明は聞きたくないらしい
1割負担の方は本人の負担額があまり変わらないので、変更しないという方が多い。
子供の薬はイヤという方が多い、GEの理解が進んでいないと感じる
生保の方や自己負担金に限度がある方が自分の負担はないからといい先発品を希望することが多い
差額が大して変わらないから先発でいい。見た目が変わると飲み間違いをする心配がある。医師が書いた薬（先発）を変えるのは申し訳ない
自由に変更できるのに「先生が処方を書いてあるとおり出してくれ」という方も結構多い、説明しても理解できないようだ
変更すると医師に申し分けないという思い込みがある
こちらの説明では生ぬるい。（薬局、薬剤師）
主治医がジェネリックに替えるといっていない！
ジェネリックの説明を丁寧にしても分からないのでそのままと言われる
メディアなどによる偏った情報での不信・不安感
ジェネリックへ変更後、副作用が実際あったため。年代というより個々の考え方による。
先発品に対するステータスみたいなものを持っている場合がある
高齢者、公費で負担の少ない方は会計があまり変わらない為そのままを希望される方が多い
説明してもGE自体を理解してくれない。
ジェネリック医薬品の説明を聞くのが面倒「時間がないので処方どおりでいいから早く薬をよこせ」という感じ
なんとなく変えたくない、あまり関心がない
10才以下のお子様を持つお母様方は先発品を希望する割合が多いです。
Dr.の処方通りに薬がほしいという希望
もともと1000円以下の負担額の高齢者などは今更数十円程度のためにわざわざ変えたくない

② 集計結果

問⑧ 県薬剤師会と協会けんぽ青森支部が、県民の健康づくりに向けた連携協定を締結いたしました。今後協働してどのような取組みが可能と思われますか？

	回答数	割合
ア. 更なるジェネリック医薬品の使用促進	138	27.4%
イ. 医薬品の適正使用に関する啓発（残薬、多剤併用等）	184	36.6%
ウ. かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師の普及	69	13.7%
エ. 糖尿病等の重症化予防事業	78	15.5%
オ. その他	14	2.8%
未回答	20	4.0%
合計	503	100%

【自由記載欄】

健康に対する正しい知識を広める
多剤服薬患者への保健指導
AGについての説明
かかりつけ薬局、薬剤師推進ののぼり、ステッカー希望です。
糖尿の人は増えています。合併症が今後課題。ジェネリックは当店では75%ありこれ以上はなかなか厳しい。
がん検診の推進（補助等）
皆で出し合っている保険料を無駄なテレビ広告に使うような事は避けていただきたい
医療費削減PR、9割負担している層がいることを理解していない高齢者が多すぎ
禁煙・減塩等の市民参加型講座、脱短命県!!
生活習慣病の薬は一度飲み始めると一生飲まなきゃいけないのでまだ飲みたくない!!と先送りにする。忙しくなると服薬、後回しにする。
ジェネリック使用による抵抗感をなくしていく啓発
生活習慣の改善が重要であることを喧伝する。また実際に行動に移すにはどうすれば良いか考察する。
医師会への働きかけ、大病院への働きかけ